



※出典：合併会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」

株式会社アドバンスト・メディア

2025年3月期決算説明会資料

2025年5月14日



見通しに関する注意事項

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。



1. 業績の概況

専務取締役 経営推進本部長
立松 克己

1-1. 決算ハイライト

- 各企業で生産性向上にAI技術を活用するニーズの高まりを背景にAI音声認識AmiVoice®の各種製品やサービスの導入・利用の継続が好調に推移
- BSR1において全ての事業部で増収
- **売上高、営業利益、経常利益において4期連続増収増益し過去最高を実現**

売上高

6,665百万円
11.1%増収
(過去最高)

- ✓ BSR1 (第一の成長エンジン)
全ての事業部が増収し前年同期比11.0%増収
- ✓ BSR2 (第二の成長エンジン)
海外事業部が増収し前年同期比13.8%増収

営業利益

1,442百万円
5.5%増益
(最高益)

- ✓ BSR1 (第一の成長エンジン)
CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増益し前年同期比で3.1%の増益
- ✓ BSR2 (第二の成長エンジン)
前年同期比で赤字幅縮小

経常利益

1,539百万円
(最高益)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,408百万円

- ✓ 経常利益
営業利益の増益等により前年同期比8.8%増益
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益
前年同期比40.1%増益

1-2. 連結損益計算書

単位：百万円

	2025年3月期		2024年3月期		対前年増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	6,665	100.0%	6,001	100.0%	663	11.1%
売上原価	1,731	26.0%	1,526	25.4%	204	13.4%
売上総利益	4,933	74.0%	4,474	74.5%	458	10.3%
販売費及び 一般管理費	3,491	52.4%	3,107	51.7%	383	12.4%
営業利益	1,442	21.6%	1,367	22.7%	74	5.5%
経常利益	1,539	23.1%	1,414	23.5%	124	8.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,408	21.1%	1,005	16.7%	402	40.1%

1-3. 各指標の推移

単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	4,431	4,461	5,180	6,001	6,665
(増収率)	-6.7%	0.7%	16.1%	15.9%	11.1%
売上総利益	3,183	3,346	3,861	4,474	4,933
(売上高比率)	71.8%	75.0%	74.5%	74.5%	74.0%
販売費及び 一般管理費	2,503	2,523	2,780	3,107	3,491
(売上高比率)	56.5%	56.6%	53.7%	51.7%	52.4%
営業利益	679	823	1,080	1,367	1,442
(売上高比率)	15.3%	18.4%	20.8%	22.7%	21.6%

1-4. 分野別の実績①

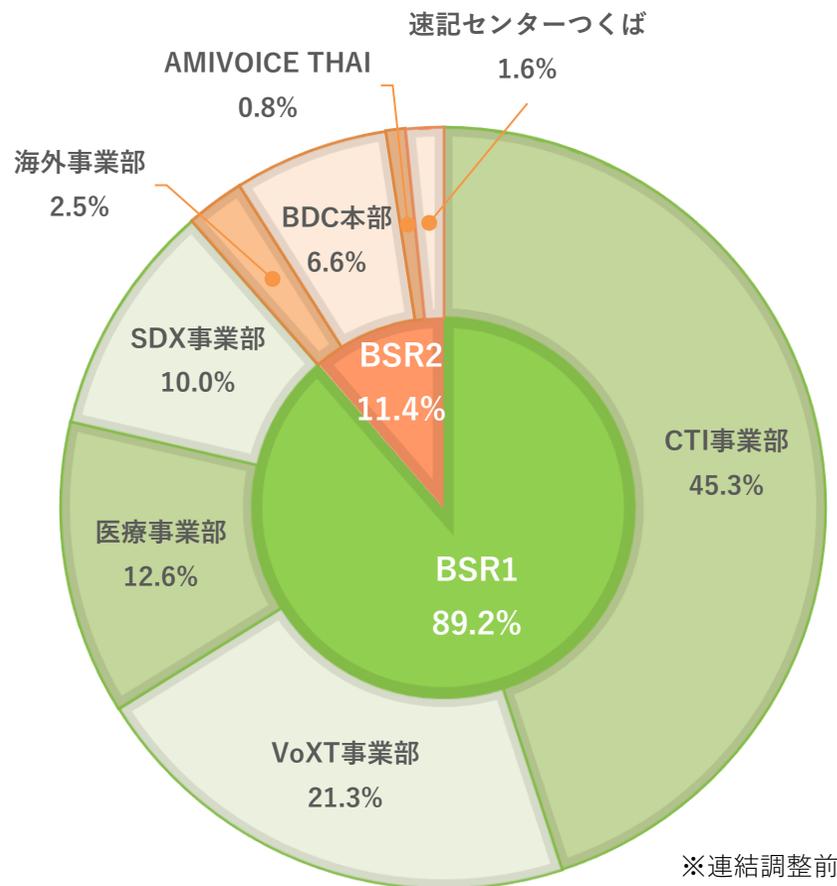
単位：百万円

		売上高			営業利益		
		2025年3月期	2024年3月期	対前年比	2025年3月期	2024年3月期	対前年比
B S R 1	CTI事業部	3,020	2,817	7.2%	901	863	4.4%
	VoXT事業部	1,418	1,114	27.3%	381	333	14.6%
	医療事業部	837	821	2.0%	219	200	9.4%
	SDX事業部	669	604	10.8%	17	77	-77.8%
	合計	5,945	5,357	11.0%	1,520	1,475	3.1%
B S R 2	海外事業部	165	79	108.3%	-17	-32	-
	BDC本部（アミサポ）	438	440	-0.6%	-11	-17	-
	子会社 AMIVOICE THAI	55	59	-5.9%	-81	-76	-
	速記センターつくば	103	91	13.6%	11	6	85.7%
	合計	762	670	13.8%	-98	-120	-
連結調整		-44	-25	-	21	13	-
合計		6,665	6,001	11.1%	1,442	1,367	5.5%

1-5. 分野別の実績②

【売上比率】

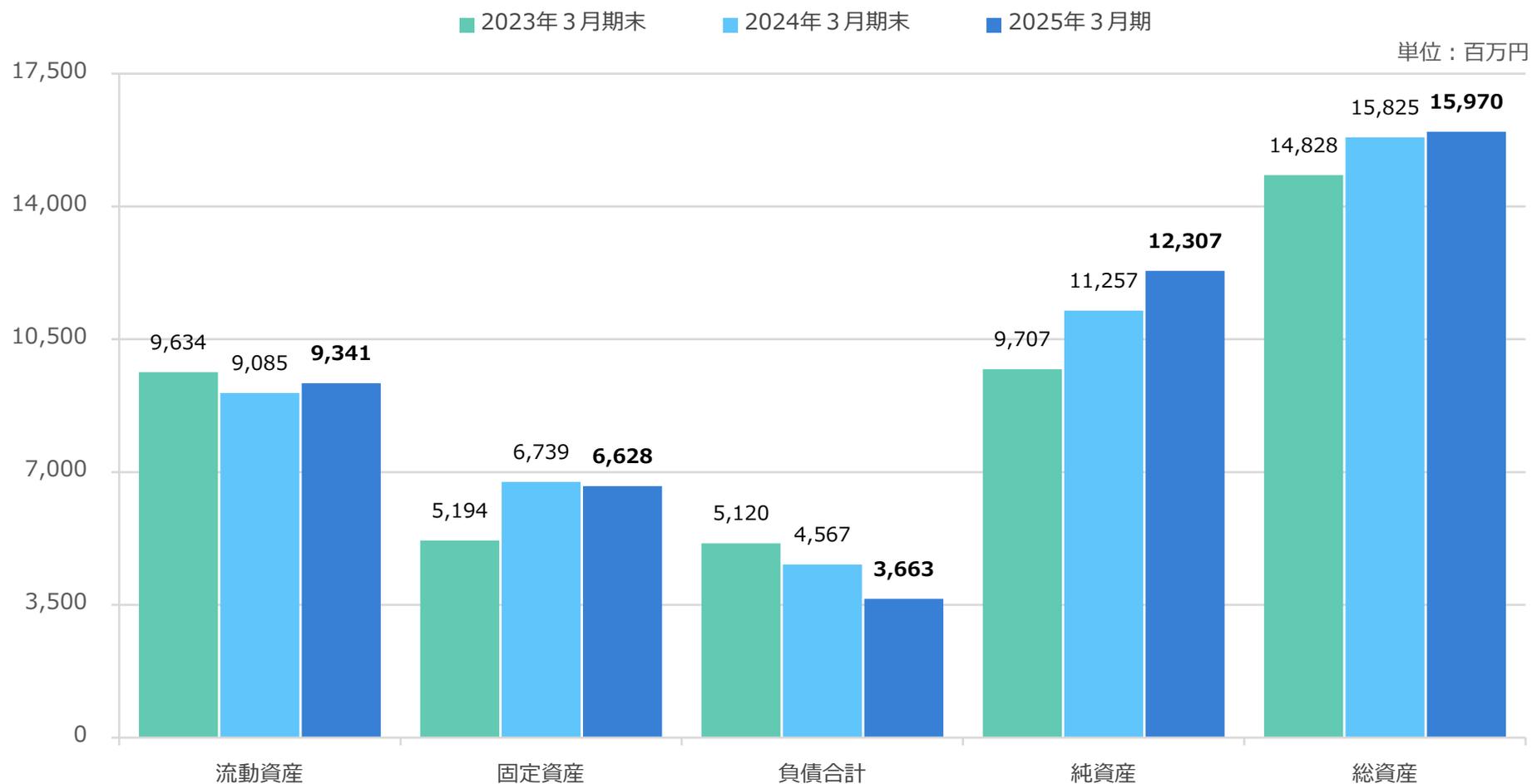
		2025年3月期	2024年3月期
BSR1	CTI事業部	45.3%	46.9%
	VoXT事業部	21.3%	18.6%
	医療事業部	12.6%	13.7%
	SDX事業部	10.0%	10.1%
	合計	89.2%	89.3%
BSR2	海外事業部	2.5%	1.3%
	BDC本部 (アミサポ)	6.6%	7.3%
	子会社 AMIVOICE THAI	0.8%	1.0%
	速記センターつくば	1.6%	1.5%
	合計	11.4%	11.2%
連結調整		-0.6%	-0.4%
合計		100.0%	100.0%



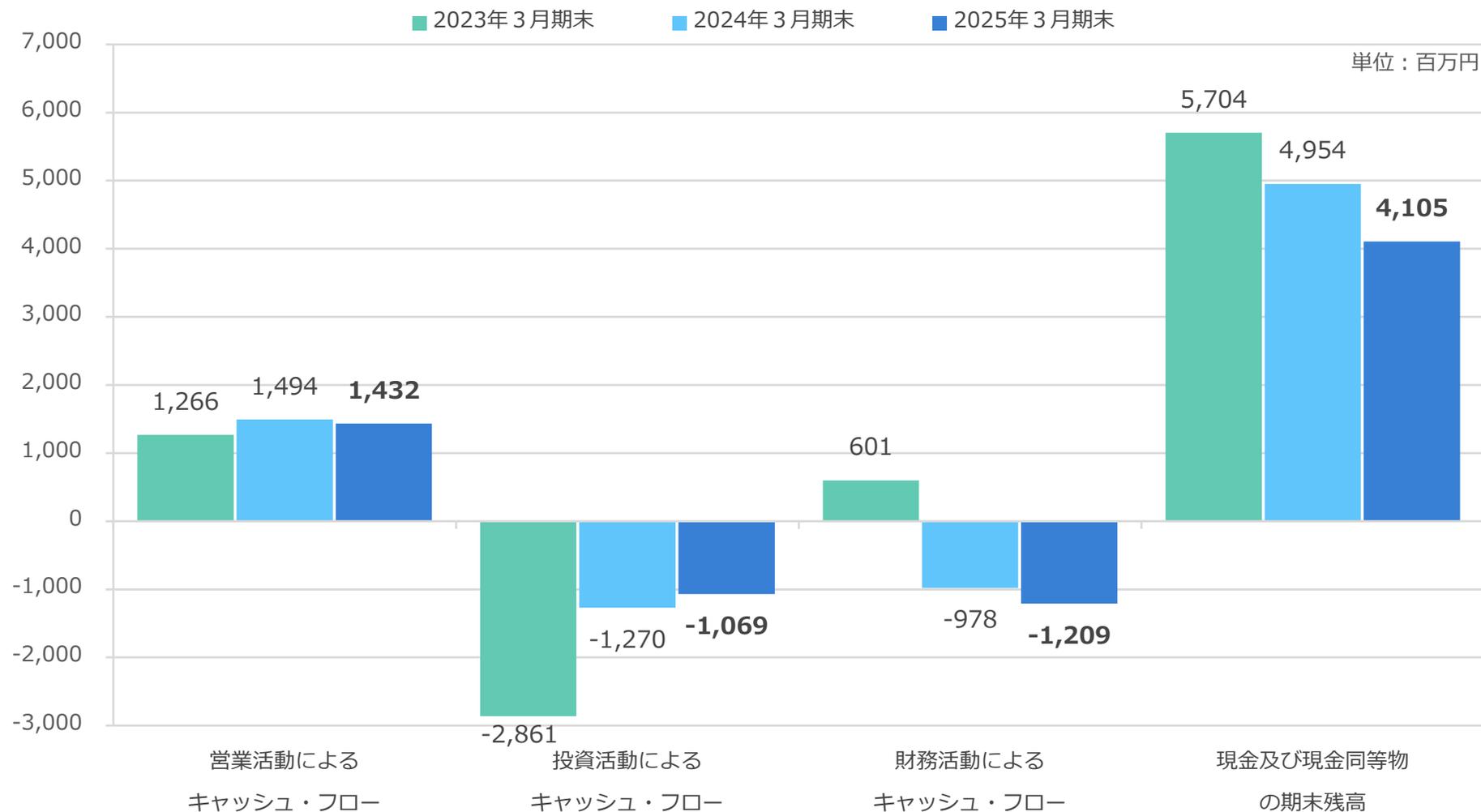
1-6. 分野別の実績③

		増収増益	増収減益	減収増益	減収減益
CTI事業部		◎			
VoXT事業部		◎			
医療事業部		◎			
SDX事業部			◎		
BSR 1		◎			
海外事業部		◎ (赤字縮小)			
BDC本部 (アミサポ)				◎ (赤字縮小)	
連結 子会社	AMIVOICE THAI				◎ (赤字拡大)
	速記センターつくば	◎			
BSR 2		◎ (赤字縮小)			
AMIグループ		◎			

1-7. 連結貸借対照表



1-8. キャッシュフロー計算書



1-9. データセンター

「データセンター設立及びデータセンターに関する投資計画のお知らせ（2024年8月7日付）」の計画通り
データセンターを2025年4月より稼働いたしました。

用途

▶ 当社ビジネス拡大に伴うGPUサーバーの増強

目的

▶ 生成AIビジネスの取組強化・データ資産の安全な保管

※当面は自社利用とし、将来的な選択肢の1つとしてデータセンター事業を検討してまいります

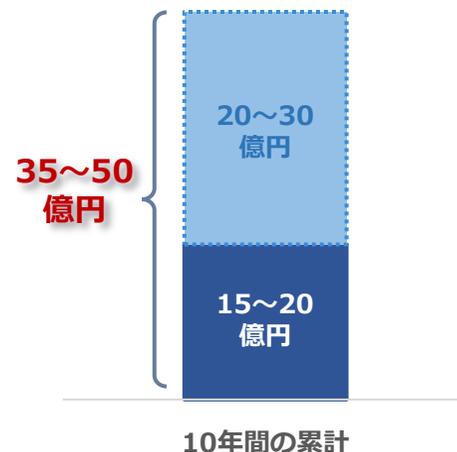
損益への
影響

■ GPUサーバー
■ 設備・賃料・電気料



累計
投資額

■ GPUサーバー
■ 設備・賃料・電気料



※「設備・賃料・電気料」は一部変動するものの、固定的要素の費用として見込んでおります

※「GPUサーバー」は業績や研究開発状況に応じて購入を進めるため変動的要素の費用として見込んでおります

1-10. 配当について

配当方針

当社は、株主の皆様に対して利益還元を経営の重要事項のひとつと位置付け、当社の事業拡大に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を勘案し、連結配当性向30%（1株当たり当期純利益の30%を1株当たりの配当金とする）を基準として、株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。

また、自己株式の取得につきましては、株主還元および資本効率の向上等を目的に機動的かつ弾力的に実施する方針であります。

基準日	中間期末	期末	合計
2026年3月期 (予想)	0.00円	30.00円 (内、記念配当2.50円)	30.00円 (内、記念配当2.50円)
2025年3月期 (実績)	0.00円	27.50円	27.50円 (連結配当性向30.4%)
2024年3月期 (実績)	0.00円	19.50円	19.50円 (連結配当性向30.1%)

1-11. 2026年3月期連結業績予想

売上高 **8,000百万円（20.0%増）** **※過去最高**
営業利益 **1,800百万円（24.8%増）** **※最高益**

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	8,000	1,800	1,800	1,400	89.74円
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	6,665	1,442	1,539	1,408	90.40円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。



2. 事業展開の概要

専務取締役 経営推進本部長
立松 克己

2-1. 事業拡大への取り組み実績

注) 連結調整前

(BSR 1) 第一の成長エンジン



CTI事業 / VoXT事業
医療事業 / SDX事業

売上高

5,945百万円
前期比 11.0%増

営業利益

1,520百万円
前期比 3.1%増

(BSR 2) 第二の成長エンジン



BDC本部 / 海外事業
AMIVOICE THAI / 速記センターつくば

売上高

762百万円
前期比 3.8%増

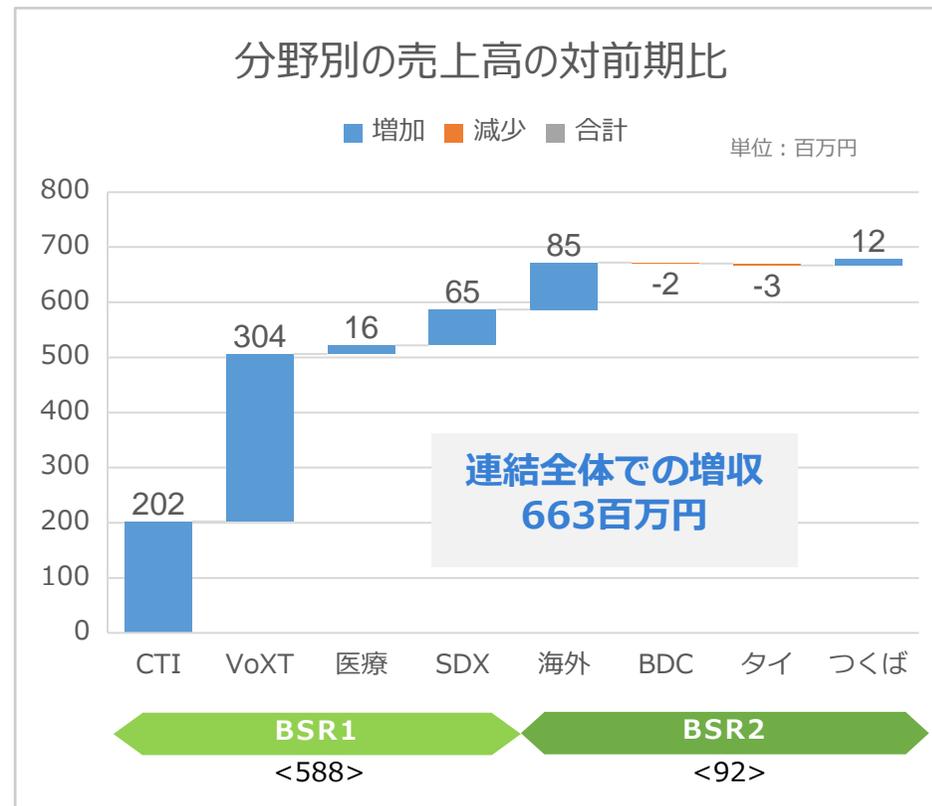
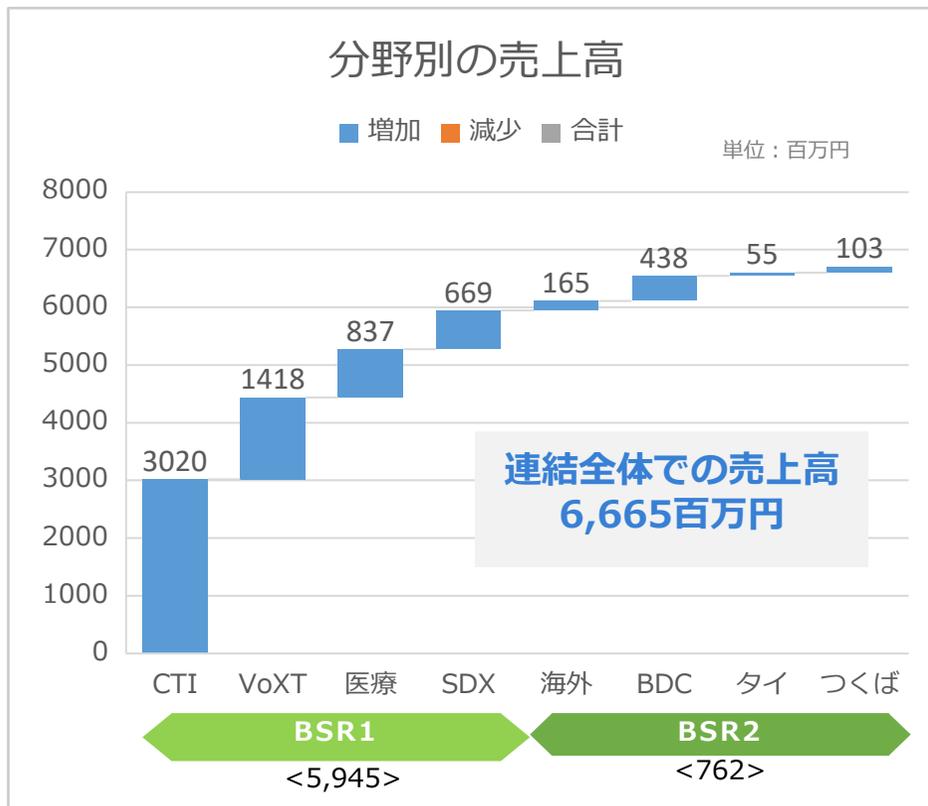
営業利益

-98百万円
赤字幅縮小

企業で生産性向上にAI技術を活用するニーズの高まりを背景にAI音声認識AmiVoice®
の各種製品やサービスの導入や利用の継続が好調に推移し増収増益
売上高、営業利益、経常利益において過去最高を達成

2-2. 売上高の分析

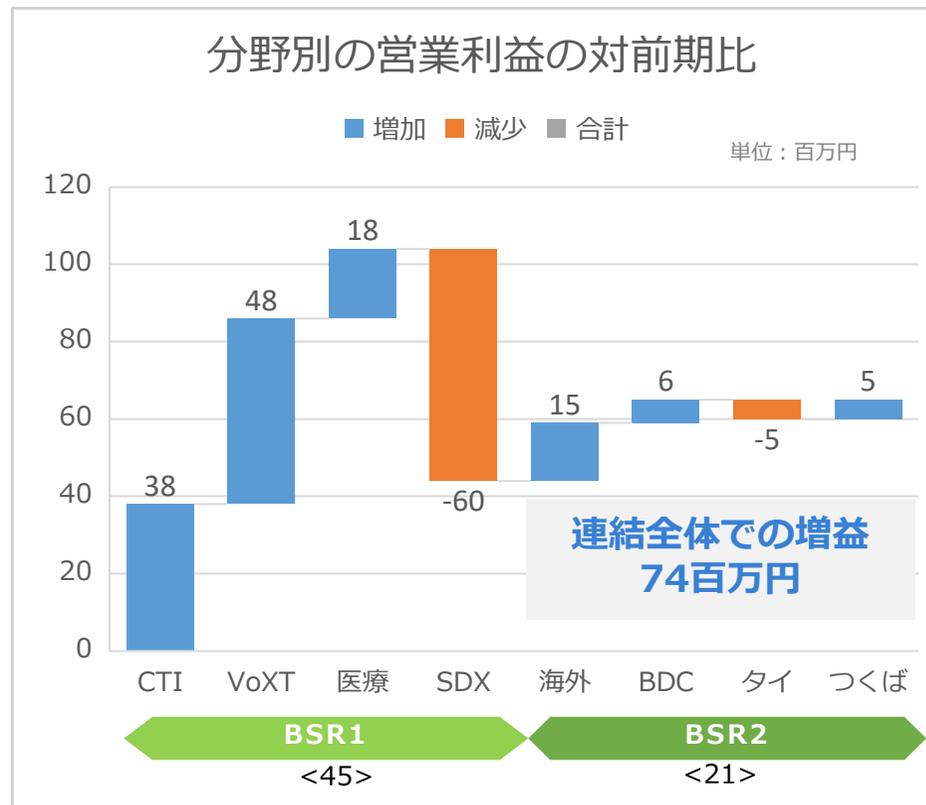
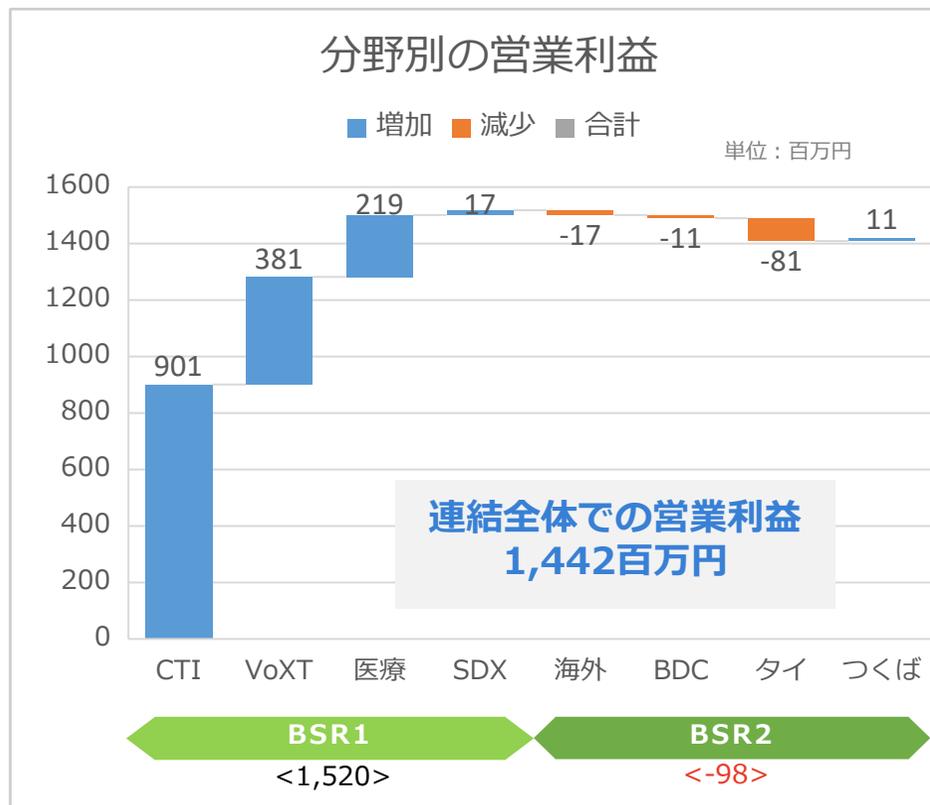
注) 連結調整前



BSR1 (第一の成長エンジン) 全ての事業部が増収し前年同期比11.0%増
BSR2 (第二の成長エンジン) 海外事業部が増収し前年同期比13.8%増
当社グループ全体では、前年同期比11.1%の増収で過去最高の売上高

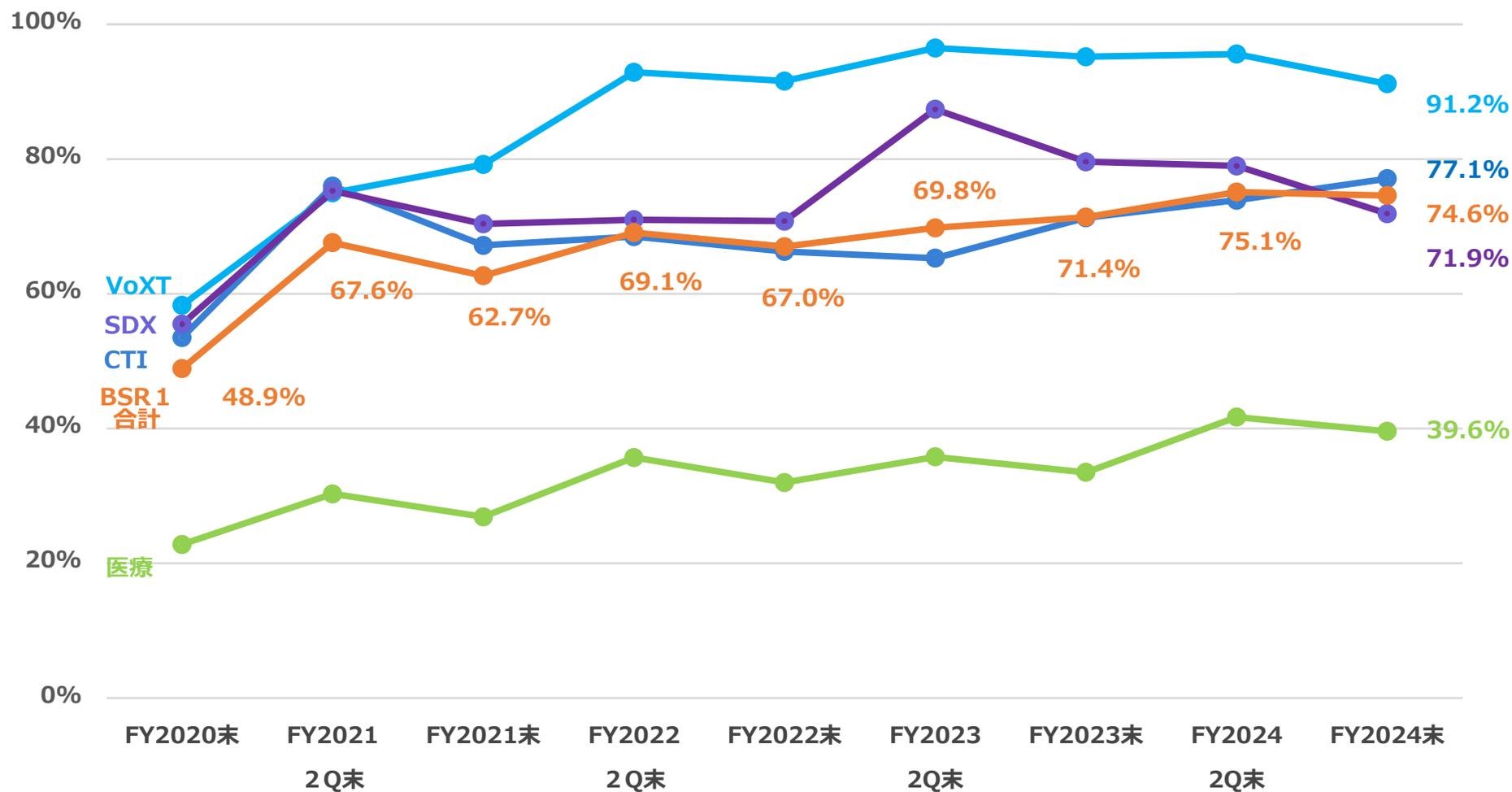
2-3. 営業利益の分析

注) 連結調整前



BSR1 (第一の成長エンジン)
CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増益し前年同期比で3.1%の増益
BSR2 (第二の成長エンジン) 赤字幅縮小
当社グループ全体では、前年同期比5.5%の増益で過去最高の営業利益

2-4. ストック比率の推移 (BSR1)

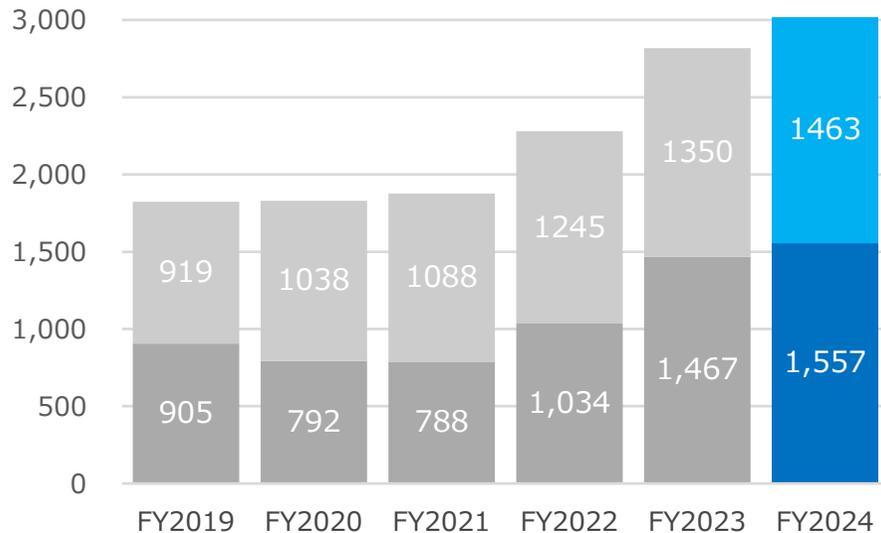


2-5. CTI事業部（コンタクトセンター業界向け事業）

- ▶ 大手SIerを中心とした販売パートナーと連携しコンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite**」の導入が堅調に推移、ライセンス数の増大及びストック比率を向上させたことで増収増益
- ▶ 「**AmiVoice® Communication Suite**」に外部生成AI連携機能を追加し、通話内容の要約やCRM（顧客管理システム）との連携など製品の性能の強化を推進
- ▶ セキュアなローカル環境で利用企業の所有データなどにより正確性を高めた大規模言語モデルを利用できる「**AOI LLM for AmiVoice® Communication Suite**」の先進的な企業の採用などにより、コンタクトセンター業界におけるAI活用のニーズへの対応喚起と増大化を推進
- ▶ **ストック比率：前期末71.3%→今期末77.1%**
- ▶ **ライセンス数（累計）：前期末74,314→今期末82,779**

売上高 上期・下期

単位：百万円



◆ AOI LLM for AmiVoice® Communication Suite



2-6. VoXT事業部（議会・会議ソリューション事業）

- ▶ AI音声認識**AmiVoice**® を活用した議事録作成・文字起こし支援アプリケーション/サービスの需要が増大し、ユーザー数が増加
- ▶ 議事録ソリューションのプラットフォーム「**VoXT One**」の各種サービスをバージョンアップ、発言者識別機能が向上、LGWAN（総合行政ネットワーク）環境でAI要約機能を利用可能に
- ▶ **ストック比率：前期末95.2%→今期末91.2%**
- ▶ **主力2製品のライセンス数：前期末4,446→今期末20,396***
 ※顧客1社からの15,000ライセンスの受注による増加



◆ VoXT One

VoXT One by AmiVoice® 議事録の悩みはすべて VoXT One で

インターネット接続なしで使えるスタンドアロン型



Scribe Assist
by AmiVoice®

新プロダクト・サービス



VoXT One
アカウント

ワンストップで使えるクラウド型

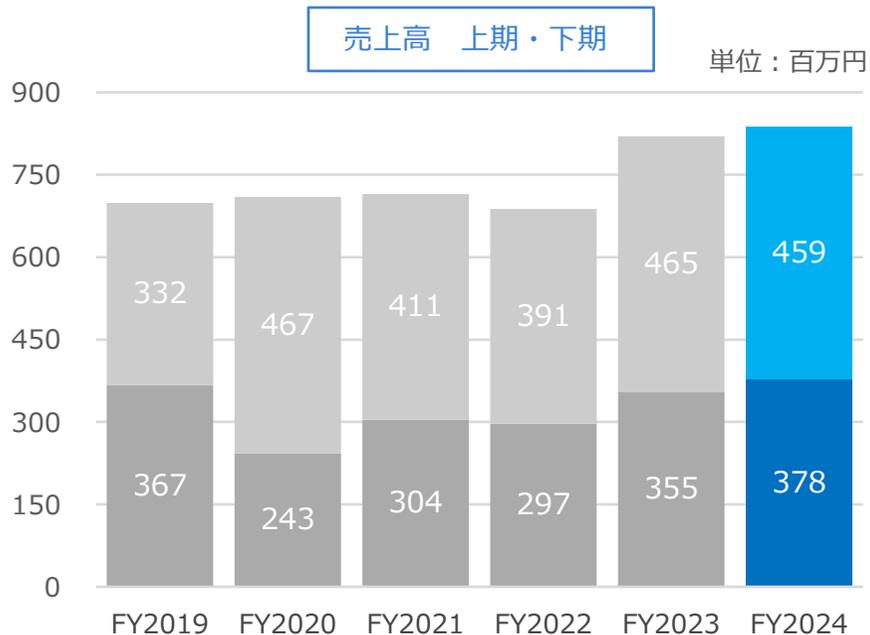


ProVoXT
by AmiVoice®

新プロダクト・サービス

2-7. 医療事業部（医療業界向け事業）

- ▶ 「医師の働き方改革」で医師の勤務時間の適正化に向けた取り組みが必要となっており、病院における医師や看護師、医療従事者の業務効率化へのニーズが高まり、AI音声入力ソフト「**AmiVoice® Ex7**」シリーズやAI音声認識ワークシェアリングサービス「**AmiVoice iNote**」の販売が堅調
- ▶ **ストック比率：前期末33.5%→今期末39.6%**
- ▶ **ライセンス数（累計）：前期末52,251→今期末64,775**

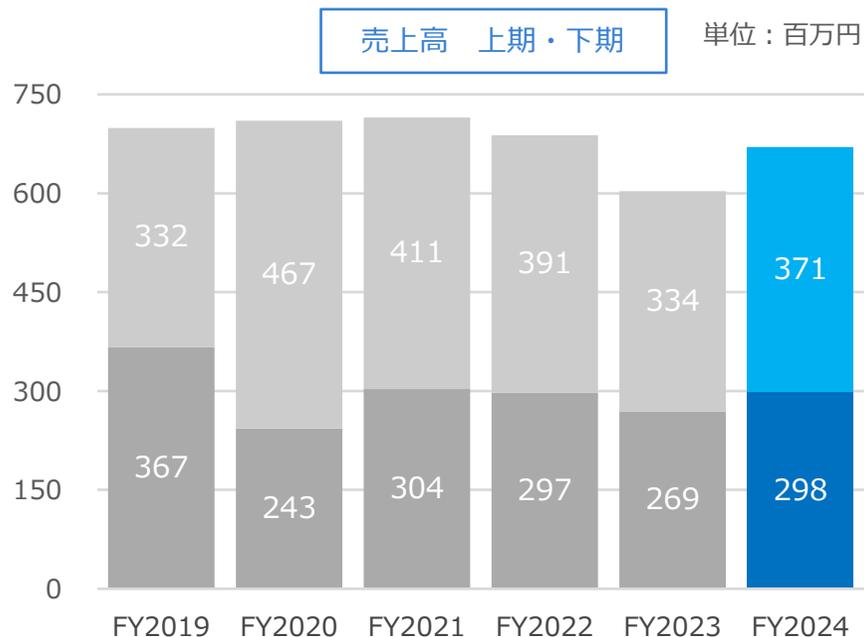


◆ **AmiVoice® Ex7** / **AmiVoice iNote**



2-8. SDX事業部（API・SDK/接客・商談ソリューション/製造・物流業界向け事業）

- ▶ 医療、製薬、保険、金融などの分野に特化したAI音声認識**AmiVoice® API**をクラウド型で提供する「**AmiVoice® Cloud Platform (ACP)**」の利用企業数・利用時間数が増加
- ▶ 接客・商談の会話を見える化・分析するサービス「**AmiVoice® SF-CMS**」と、AIを活用して効率的な営業トレーニングを可能にするサービス「**AmiVoice® RolePlay**」を集合化した営業支援プラットフォーム「**AmiVoice® Sales Boost (ASB) Platform**」の提案活動を推進
- ▶ **ストック比率：前期末79.6%→今期末71.9%**
- ▶ **API関連ユーザー数（累計）：前期末3,804→今期末6,187**



◆ AmiVoice® Cloud Platform (ACP)

開発者向け

シェアNo.1の音声認識エンジンを
API・SDKで提供する

 AmiVoice® Cloud Platform



AmiVoice API



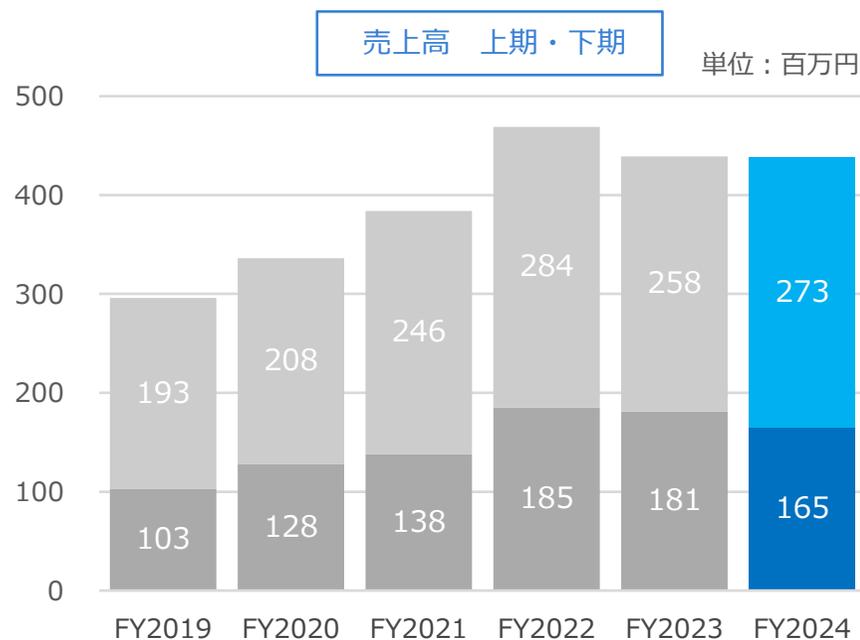
AmiVoice SDK

2-9. BDC本部（建設・不動産業界向け事業）/海外事業部（海外企業向け事業）

BDC本部（アミサポ）

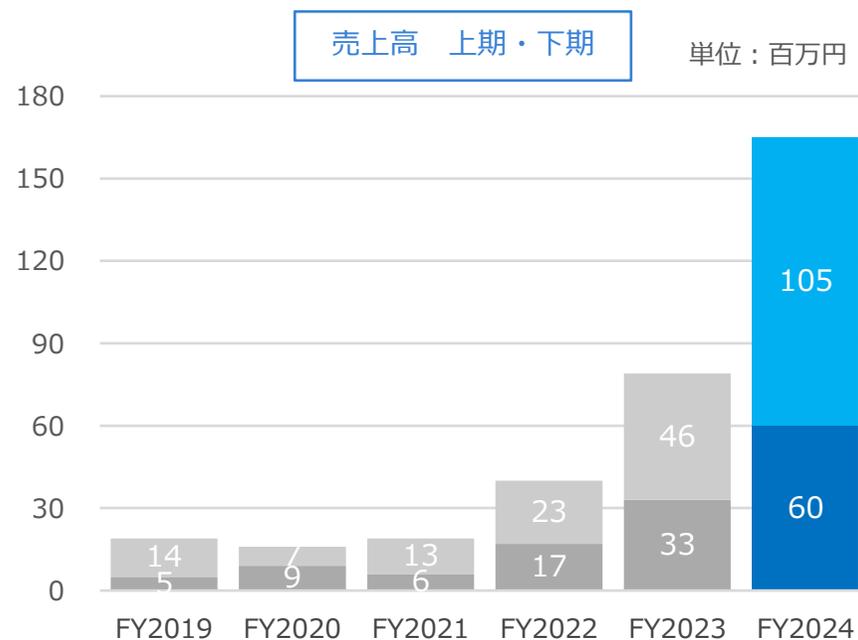
▶ 建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「**AmiVoice**® スーパーインスペクションプラットフォーム（SIP）」の導入が進む

▶ ライセンス数（累計）：
前期末55,530→今期末69,344



海外事業部

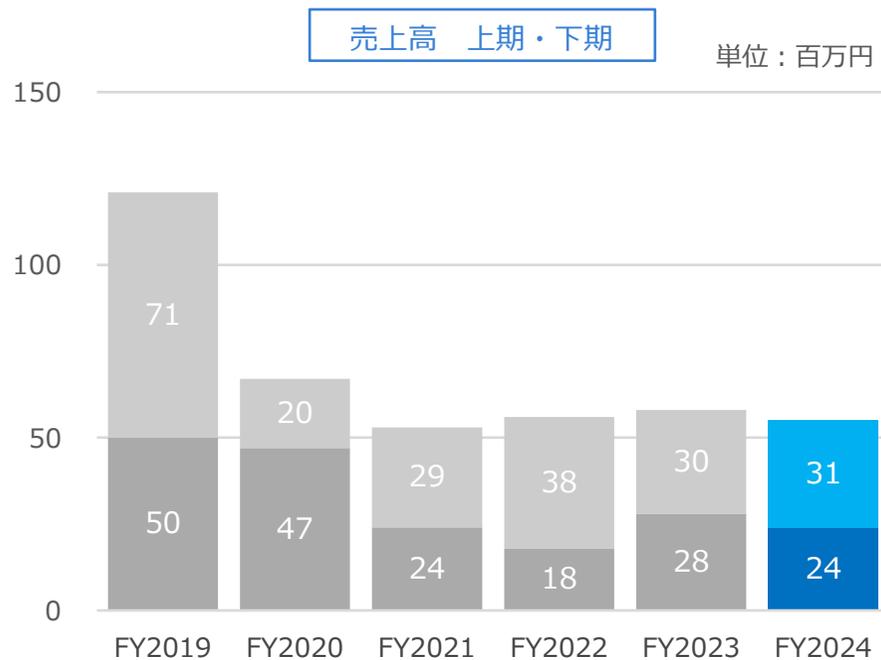
▶ 大口顧客の利用が増大したため、増収し収益改善が進む



2-10. 連結子会社：AMIVOICE THAI・つくば（BSR2）

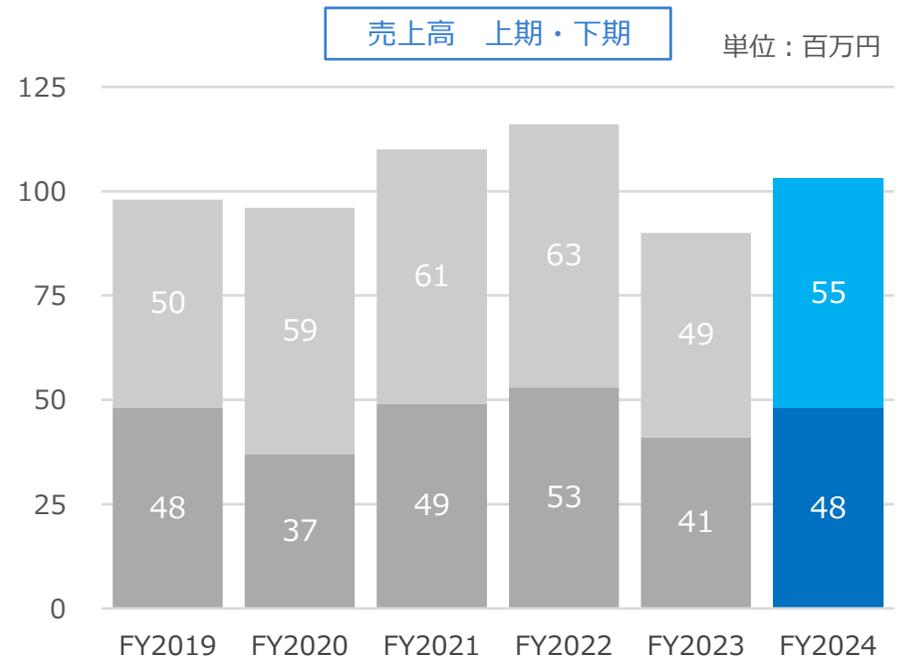
連結子会社（AMIVOICE THAI）

- ▶ 主要顧客に対する案件獲得と、収益改善に向けた事業構造の改革を進める



連結子会社（つくば）

- ▶ 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得などを進め、増収増益





3. 今後の事業展開

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸



音声認識の市場開発

28年前に
当社を創業し
音声認識の市場開発に
精励してまいりました

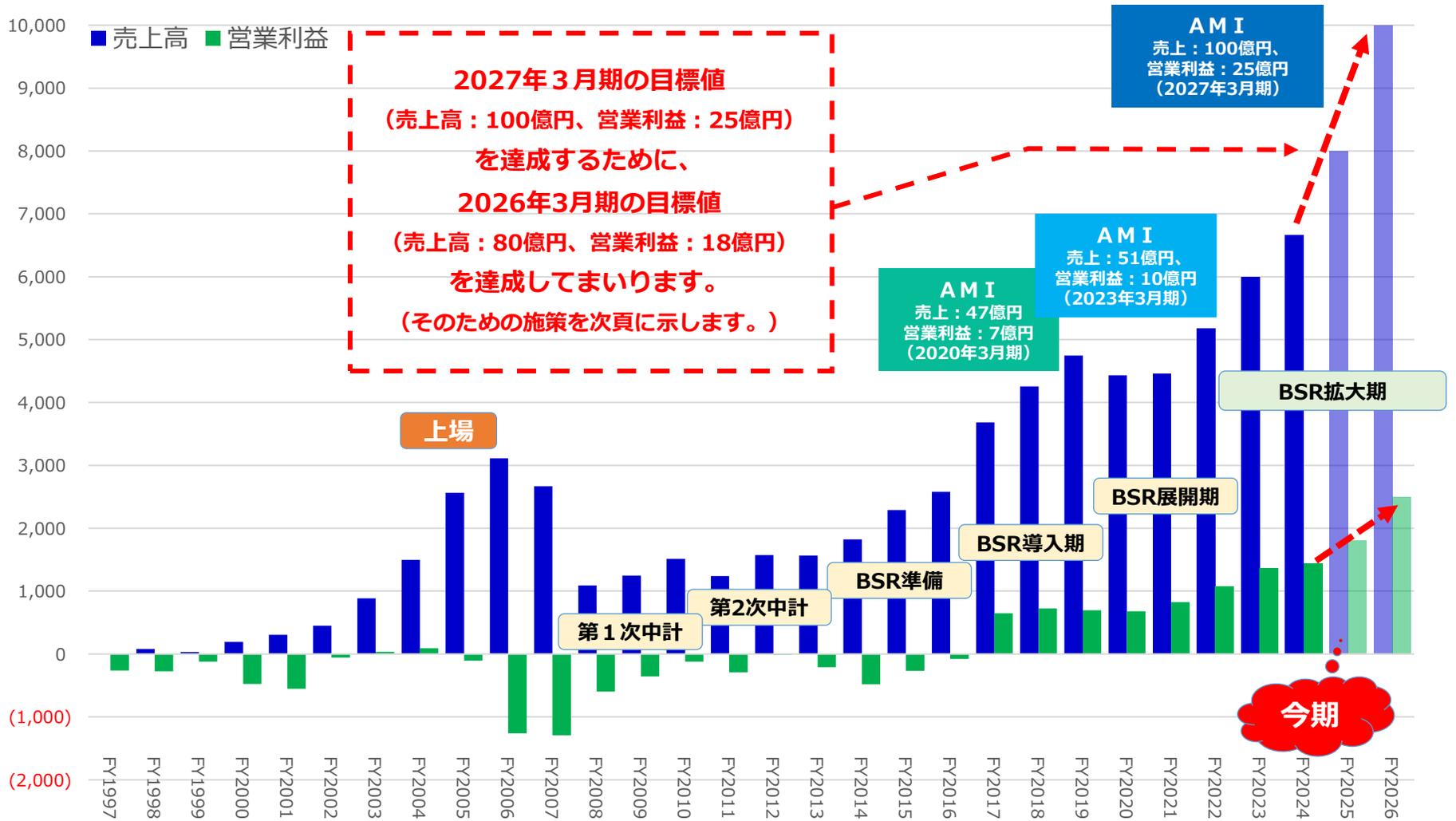
これから
28期までで創りあげた
増収増益などの基盤を使い

いよいよ
“音声認識の市場開発の成功”に
挑戦してまいります

そして
サステナブルな社会創りに
貢献してまいります

これまでとこれから

(単位：百万円)



計画達成に向けた施策

BSR拡大期の最終年度である
2027年3月期に売上高100億円、営業利益25億円を実現

そのための施策

- その1. 音声認識市場開発の深化によるビジネスの拡大
- その2. プラットフォームビジネスの拡大
- その3. 新規サービスの市場投入

I. エムデブ (M-Dev) ※1 によるビジネスの拡大

➤ これまでの音声認識の市場開発

既存の顧客のニーズを分析して製品を開発し
PoC※2などにより顕在化されたニーズを反映した製品として浸透（マーケットイン）



➤ これからの音声認識の市場開発

顧客の潜在ニーズを顕在化するための開発や市場への浸透などを、
他社との連携により行い、市場開発の規模と速度を高める

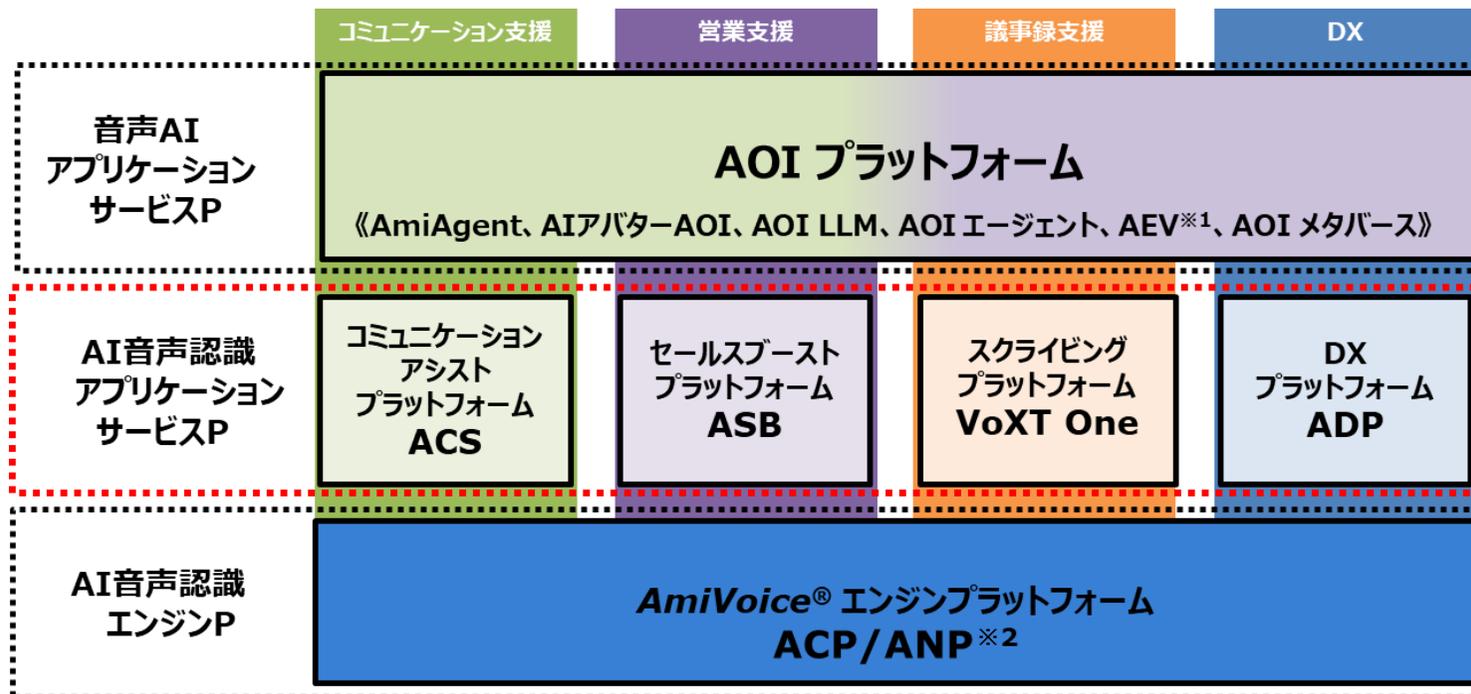
M&Aも有力な手段

※1 M-Dev (エムデブ : Market Development) : 資金と時間を使い製品開発と市場開発を他社との連携で行う (M&Aも含む)

※2 PoC (Proof of Concept) : 製品の期待効果の検証のために行われるプロセス

Ⅱ. プラットフォームビジネスの拡大

- 営業支援プラットフォームとDXプラットフォームの市場投下
- 新たな利用料モデル（特許取得済み）の導入
 - ☆サブスクの利用料を従量利用料に変換
 - これまで、利用時間の問題で利用を断念していた利用者に使わせることやスキリングを安価に行うことができ
AIを使い仕事を効率化することや、AIを相棒にして仕事を快適にすることに繋がられる



Ⅲ. 新規サービスの市場投入

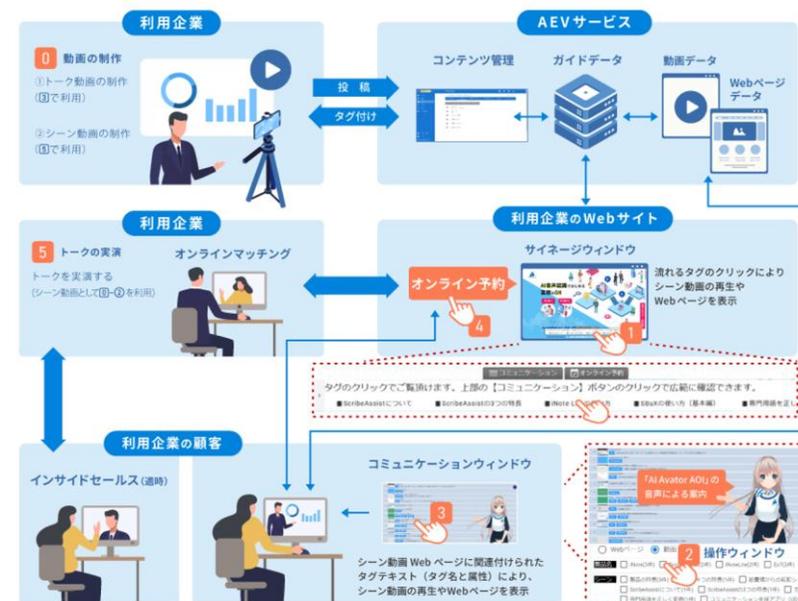
➤ 「パーソナライズAIエージェント」 (特許取得済み)

ITアプリケーションやサービスの利用における
キーボードやマウス操作時に、それまでに、
利用者が個別に行なった音声プロンプトの
知識ベースのカスタマイズといったパーソナライズにより、
作業の効率化や快適化ができる
キーボードやマウス操作の代行サービスを提供する



➤ 「アミボイス・イージー・ビューワー (AEV)」(特許取得済み)

Webサイトにタグテキスト(タグ名や属性)を
介したアドバンスドコミュニケーション※を導入し
Webサイトの来訪者が必要とする情報を
効率よく得ることができるサービスを提供する



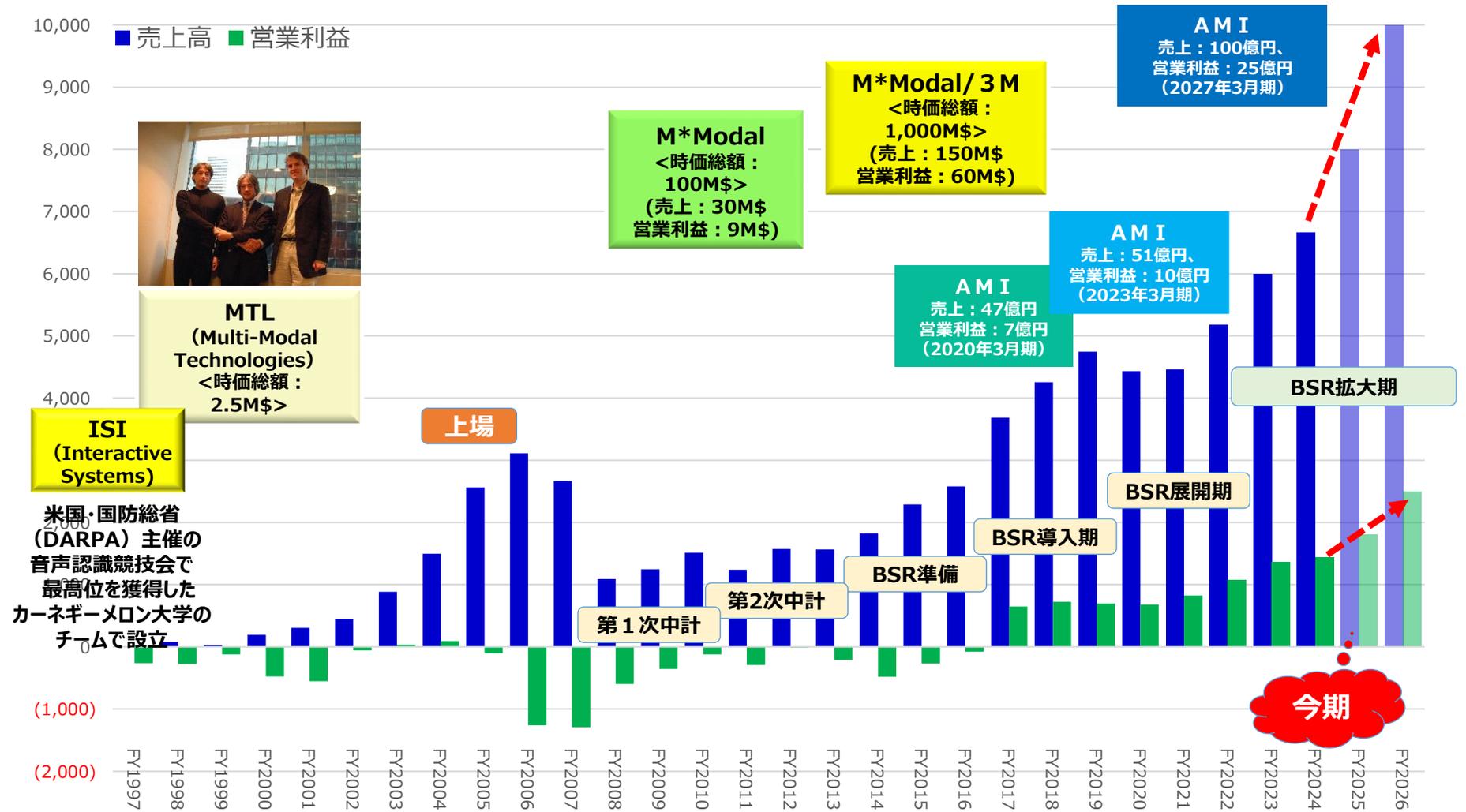
※ Webサイトの有するWebページや動画などのコンテンツに関連する①タグテキストを流すサイネージウィンドウ、②タグテキストを固定的に表示するコミュニケーションウィンドウ、そして、③表示内容を操作できる操作ウィンドウによる、Webサイトとその来訪者とのこれまでなかったコミュニケーションのことをいいます。



ご視聴ありがとうございました

成功した米国での音声認識の市場開発

(単位：百万円)



音声認識市場のシェア



※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」

音声認識の市場開発のこれまで

※2025年3月現在

コンタクトセンター **569**社 (82,779ライセンス)

議事録・書き起こし

自治体・民間

計 **2,770**施設

API・開発キット

6,187ユーザー

医療

19,150施設
(75,445ライセンス)

建築・不動産

544社
(69,344ライセンス)

製造・物流

6,220ライセンス

モバイル・ビジネスソリューション

1,079社



#音声認識で つくりたい未来へ

Philosophy

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェアNo.1*の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、
アドバンスト・メディアです。

AmiVoice®